

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	心身障害者等無料バス優待事業		担当部署	健康福祉部 社会福祉課		
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例、鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例施行規則		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	昭和	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期	未定
(小項目)	障がい者福祉					
施策	5	障がい者福祉の推進				
基本事業	3	生活環境の整備充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 身体障害者手帳の1級から4級の交付を受けている者、知的障害者であって療育手帳の交付を受けている者、精神障害者であって精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者、上記に該当しかつ介護を要する者の介護人						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市内のバス路線を利用する心身障がい者に対し、無料バス優待券を交付することにより、障がい者の移動手手段の確保、生活圏の拡大を図り障害福祉等の向上をめざす。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		鳴門市高齢者等無料バス券申請件数(障がい者)	100	100	100	100	100	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成25年4月からの鳴門市営バスの廃止に伴い、これまで市営バスの無料バス優待券を利用していた障がい者の利便性確保のため、同優待券を徳島バスの一部路線にも適用可能とする協定を締結し障がい者の福祉サービスの充実を図っている。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数(障がい者)	109	93	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)		93.0	-	-	-	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	3,806	828	860	860	860	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	3,806	828	860	860		860
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		402	402	402	402	402	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)							
	臨時職員等(2,012千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		4,208	1,230	1,262	1,262	1,262	千円	

【事務事業名：心身障害者等無料バス優待事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	26年度も引き続き、鳴門市高齢者等無料バス券を交付し、今まで利用していた市民の利便性を損なわないようにしている。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	障がい者の生活福祉の向上に寄与するため。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 障がい者福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	同上
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	同上	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				